

10月  
22日(金)

新たな姉妹都市が誕生!

# 韓国・大田広域市

10月22日(金)に、韓国の大田広域市が5番目の姉妹都市になります。  
今回の特集では、姉妹都市提携の意義や大田広域市の魅力を紹介します。

## 大田広域市 基本データ



	大田広域市	札幌市
位置	北緯36度10分 東経127度33分	北緯43度3分 東経141度21分
面積	539.84 km <sup>2</sup>	1,121.12 km <sup>2</sup>
人口	約150万人	約190万人
平均 気温	12.3℃	9.4℃(平成19年)

大韓民国の中心部に位置する、韓国で人口が5番目の都市。四方を山に囲まれた盆地地形で、はっきりとした四季がある。夏は暑く冬は寒いが、雪はほとんど降らない。ソウルからはKTX(韓国高速鉄道)でわずか1時間の距離にある。近年は、政府や民間の研究所が100以上集中する「科学技術都市」として発展を続けている。なお、「広域市」とは、日本における政令指定都市のようなもの。

## 姉妹都市って何？

交流を通してお互いの街を発展させていくことが、姉妹都市になる目的です。相手の街を訪問したり、話を聞いたりすることで、自分の国とは異なる文化があることが分かります。そして、その文化を肌で感じ、理解することで、お互いの良いところを自分の街に生かしていくことができます。そのきっかけとなるのが姉妹都市なのです。

## どうして今回、大田広域市と姉妹都市になるの？

大田広域市とはこれまで、子どもたちがお互いに訪問したり、経済交流の発展に関する覚書を交わしたりするなどの交流を積み重ねてきました。韓国は距離も近く、歴史・文化的にかかわりも深いため、今後は、さらに多くの市民が参加できる「姉妹都市」として幅広い交流を行うことがふさわしいと考えました。

## 今後、どのような交流を行うの？

市民同士による文化・スポーツ交流のほか、大学間の学術交流やまちづくりの課題解決に向けた情報交換など、さまざまな分野での活発な交流を目指します。



平成15年に、札幌の中学生・高校生15人が大田広域市を訪問。着付けや韓国料理作りなどの交流を行いました。



7月26日に大田広域市の廉弘喆市長と上田市長は、年内に姉妹都市提携をするという合意書に署名しました。